

鉾田町商工会青年部会報



Enjoy 青年部 (微 明)

No.22 平成12年度版

発行日 平成13年3月31日
編集 鉾田町商工会青年部 広報委員会
発行 鉾田町商工会青年部
部長 大橋俊哉
鉾田町大字鉾田2482-1
TEL 0291-32-2246

Contents (目次)

- P 1. 通産大臣表彰、発刊にあたり
P 2. 屋台村、町長との懇談会
P 3. 青年部主催行事
P 4. 卒業生紹介、全国大会



左から大和田副部長・荒野副部長・大橋部長・久保田副部長

祝・通産産業大臣表彰

去る平成十二年十一月十六日に、商工会法の施行四十周年の商工会全国大会に於いて、鉾田町商工会青年部が名誉ある通産産業大臣表彰を受賞しました。

鉾田町商工会青年部が名誉ある通産産業大臣表彰を受けたのに伴い、今年二月十八日午後六時にホテルさわやに於いて、報告・祝賀会が行なわれました。出席者は、商工会会長を始め副会長、事務局、女性部の部長、副部長、歴代の部長、青年部OB会の皆さん、来賓の方々、そして現青年部員でした。まず、報告会では、発起人を代表して、第六代部長を務められた山崎英策さんのあいさつの後、渡辺商工会会長より祝辞を頂きました。その後、現大橋青年部部長が経過報告をしました。経過報告では、青年部三十五年の軌跡という事で昭和三十一年に創部して以来、歴代部長のもと永年にわたる青年部活動が認められて今回の表彰に至った事を報告しました。来賓のあいさつでは、第十代部長も努められた鬼沢保平町長さんにもお祝辞を頂きました。報告会終了後の祝賀会では、鬼沢町長のお話の中で、「今日は、久しぶりに会う面々で同窓会に来ているみたいで楽しんで行きたい。」と言っていたとおり、どのテーブルでも、昔話に華が咲いたり、これからの活動に、意見を交わしたりと、この表彰を受けたことを喜びながら楽しい時を過ごしました。



発起人を代表して



来賓のみなさん

ENJOY青年部 発行にあたり

青年部部長 大橋 俊哉



二十一世紀を迎えて、日本を取り巻く環境は、目まぐるしく変化に富み、さらなる加速をしながら進んでいます。この変化に対応出来る者だけが財をなす、そんな時代が目の前に迫って来ております。皆さんこんにちは、らしくも

なく固く入ってみたいつもりです。今年も元氣良く皆様はお越しの事と存じます。この二年間、部員、事務局の皆さん、そして家族まで巻き込んで迷惑や苦勞をおかけしてまいりました部長職、お陰様でこの大役もあと少しとなりました。ありがとうございました。心より御礼申し上げます。振り返りますと、部長職でないと味わえない経験は、想像を越えるものでした？ちと大げさですが、普通では学ぶ事の出来ない事や、沢山の人の出合い、言葉では言い現せない事、目に見えないものを学ぶ事が出来ました。ただ残念なのは、顔と名前が一致しない部員がいた事で、二年間の中で一番の心残

りです。次の部長さんには、そんな思いをさせぬ様顧問として協力して行きたいと思っております。又、今回紙面を騒がせております通産産業大臣表彰、二十世紀最後となったこの賞は、非常に価値があり商工会組織でいただく賞の中では、一番位の高いものだそうです。創部三十五年と言う歴史の中に又一つ、新たな一ページを刻めたと言う事は、部長冥利につきる事と感じています。そして、その賞に恥じぬ様これからは青年部活動に、私達は邁進して行かなければならないと思っております。今年も年間会報が発刊出来ました事、部員をはじめ事務局の皆さんに感謝致します。

青年部行事報告

第5回

「屋台村・わくわく夕市」

第5回「屋台村・わくわく夕市」が平成十二年十月七日(土)に、正午から午後六時まで行われ、今年も多くの人々にぎわいました。

青年部主催のイベントで平成八年度より鉾田町商工会無料駐車場にて、地域の皆様とのふれ合い、子供達への遊び場の提供をテーマに開催され今年で5回目になりました。今年の新しいイベントとして秋の味覚つかみどり・輪投げ・シューティングゲームなど、どのコーナーも親子づれを中心に大人気、大盛況でした。



気持ちを新たに

野球部

私たち野球部は、ここ数年、鹿行地区大会の優勝から遠ざかっています。ベスト四にも進めないのが現実となっています。私が監督になって二年が過ぎましたが、二大会で二勝しか出来ませんでした。

個々の実力は、かなり高いレベルにあり、他の商工会青年部にも負けておられるとは思いません。昨年は、なぜ勝てないのか？

昨年は、他のチームの実力アップだと思っていました。それだけの理由ではないと感じています。私が思うには、勝利に対する「欲」が、少し足りないのだと思います。この欲の足り無さが、勝負どころの集中力の欠

如につながっているのでは

う。二十一世紀を迎えて、これらの野球部が、どの様に戦っていくか？今年の鹿行地区大会において、あくまでも「勝利」にこだわり、勝つことに対して貪欲さを表に出したプレーを心がけ、全力を出しきって行きたいと思います。

ここ数年、鹿行地区のスポーツ大会は、野球だけではなく、ゴルフ・ボウリング、すべてにおいて、神栖町商工会が、優勝を独占しています。

今年こそ、なんとか一矢むいて、良い結果を報告したいと思っていますので、相も変わらず、皆様の応援よろしくお願います。

監督 荒野 圭一



今年こそまず一勝

二町村特別講演会

IT(インフォメーション・テクノロジー)最近よく耳にする言葉ですが、講師の海野先生から「もうすでに身近なものです。」という説明を受け、それが銀行のATM・コンビニのPOSシステム・携帯電話のIモードなど生活の一部に入ってきているということから始まり、現在のパソコンはもろろん、Iモードでのオンラインショッピングにおける流通の変化が「顧客は近所に居るだけではなく、世界中にいる。」というスケールになってきているということでした。私達の商売は今までの様に地域に密着する、という点で営業を重ねてきましたが、海野先生のお話では「これからは、ITを活用しないとビジネス

スが成り立たなくなる日が来るかもしれません。」と仰っていました。私には、ITをうまく活用することによって顧客は世界中に広がるのではないかと興味に聞きとれました。

インターネット・パソコン・携帯端末は身の回りに日常的に存在し、積極的にこれに関わり人より先に、とまではいかなくても、ビジネス・プライベートとうまく時代の流れを知り、活用することが私達若い世代が、今、一番チャレンジしやすいビジネスチャンスが到来したのかなという気持ちにさせてくれる講演会でした。

担当委員長 勢司 雅晴

町長との懇談会

二月二十二日、二回目の町長との懇談会が行なわれました。

まず初めに、鬼沢町長は、町の財政状態から話され、上下水道問題、そして、百里基地民間共用化の問題、最後に、質疑応答という形で進められました。

財政状態については、現在九十一億円の補正予算案が三月定例会において審議予定をされており、また六十五億円の借金を抱える中で、ゴミ環境問題における必要経費の財源を町民の皆さんのご理解の元、生活環境整備を進めていくことを話されました。

上下水道事業については、平成五年度から整備が開始され平成十一年度末現在で三十四・六%までになり、今年度末までには五十%の普及率になるとのことでした。しかしながら、まだまだ、全国、県平均八十七・四%から比較すると遅く、おり、また、整備終了予定の平成十五年度よりも延びる可能性が高いとの見解を示されました。

そして、下水道整備についても、水戸から北を除いて北浦町、鉾田町、大洋村、旭村が普及率〇%であり、今後は、流域下水道での整備を進め、農業集落排水事業も、青山、美原地区等において十月整備終了予定であるということでした。これらの整備は、完成後、直接私達の目には見えないが、私達の日常生活の中で、かかすことのできない、重要課題であり、部員との意見とも一致するものであります。

次に、百里基地民間共用化の問題については、平成十二年度には、一億円の施設設計調査費が国に計上され、環境アセスメ



ントの準備作業が進められ、アクセス道路も、千代田、石岡ICから百里飛行場、東関東自動車道水戸線茨城南ICを通る地域高規格道路のほか、各種の県道の拡幅等の実施がなされており、平成十三年度には、十一億五千万円の用地取得費が計上され、平成十四年度から、十七年度に、実施設計、建設工事、そして、平成十八年度開港予定ということであり、開港時、年間八十七万人の航空需要予測がされているとのことでした。私達商工業者としては、この近隣町における空港整備のメリットをどう自分達の町活性化のために活かしていくかが、大きな課題となるところであります。

最後の質疑応答においては、鬼沢町長も、商工会青年部のOBということもあり、終始和やかな雰囲気の中風気味の体調にも拘わらず、熱心に部員の意見に耳を傾けておられました。

今回、私達は、鉾田町の豊富な自然資源と、これら町活性化のための起爆剤となりうる素材を官も民も意識を変えながら、自分達の明るく住みよい町づくりのために活かしていく必要があることを学ぶことができました。

20世紀をしめくくる 青年部行事報告

H12年4月1日～H13年3月31日



家族みんなでパーベキュー
(24時間耐久事業)

青年部行事写真



今年の旅行も
楽しかった!!



猫魔スキー場へ向けて
出発だ!!

24時間耐久事業

平成十二年七月十五日～十六日にかけて、「第三回、二十四時間耐久事業。」が行われました。

この事業は、二十四時間の間に、いろいろなイベントを各会場で行い、部員の好きな時間帯を利用して参加してもらい、みんなで力を合わせて二十四時間を乗り切り青年部員間の親睦を深める事が目的です。

夕方五時の月例会から始まり十一項目からなるイベントがスタート。始めのうちは、元気があった部員も夜明けが近づくにつれて、睡魔に襲れながらも、寝たい目をこすりながら一生懸命にがんばっていました。今回も昨年同様、数多くの青年部員の参加がありました。

毎年恒例、事業の最後を締めくくることが家族親睦パーベキュー。パーベキューには、部員の家族の参加もあり最後のイベントにふさわしくにぎやかに行われました。

二十四時間耐久事業を終えた部員達は、やりとげた満足感と達成感が漂っていました。

この事業を通じて、さらに部員間の結束が高まったと思います。

青年部親睦旅行

担当委員長
岡里 剛治

平成十二年十一月十九日～二十日、今年も青年部員による親睦旅行の日がやってきた。今年度は、全国大会と予定が重なってしまいうため十一月に行く事になりました。

今年の旅行は、平均年齢も若く出発の朝からみんな元気です。

研修地は、静岡県御殿場アウトレットモールです。とても敷地が広く、日曜日だという事もあって家族つれや買い物客で大変混み合っていました。買い物目的の人はいいでしょうが、大多数の部員は、「はやく、いんべよー。」など文句を言っていました。買い物をする人は自由時間を利用してのからです、わがままは言わないようにしようね。きつと田舎者には、人が多い所って合わないのかもしれないね。

御殿場の研修地を予定よりも三十分も早く出発し、昼食を取る事にしました。しかし、今日は日曜日、しかも天気も良かったので、いろいろ話をしました。

宴会後、十二、十三人と外に出た飲みに行きました。いつもなら宴会後、みんなバラバラになつてしまふのですが、外には居酒屋は一軒しかなく、そこで、いろいろな話をしました。

宴会の話は最初だけで、これからの青年部の事、青年部のありかたについて深く話し合いました。

実際、月例会や常任委員会には、ほとんど参加していない部員の貴重な意見を聞く事ができてとても勉強になりました。

いままでも、一度も青年部旅行に行つた事のないあなた、一度行つてみると違った青年部や自分に会えるかもしれませんよ。

スキーバスツアー

担当委員長
川崎 孝行

平成十三年二月二十五日、〇時三十分商工会青年部主催スキーバスツアーが昨年と同じ裏磐梯猫魔スキー場へ向けて出発しました。

毎年、参加されている部員や一般参加されている方々は気づいていたと思いますが、今回は静かすぎるのです。そう、あの剛治マシガントークを聞かずに済んだからです。それだけでもスキー担当者である私の疲れも激減しました。

午前四時も回ったころスキー場に到着、六時には一斉にスタートしました。ゲレンデを見渡せば雪は眩しい、斜面も良く、晴天、毎年の事ですが感激します。皆、楽しそうに続々とリフトに乗り込んでいく中、独り仮眠室へ向う部員が着替えもしていない。その時も聞いたのですが改めて聞きます。「あなた何しに来たんだ、圭一さん。」

家族で参加の大橋一家はすごかったです。初心者のおさんと娘さんをコースの中腹までカニ歩きさせ、自分はリフトに乗っているという始末。昼食時に、一家を見かけたのですが部長以外ぐつたりと疲れ切った様子でした。

ゲレンデでの私は、ツアー参加者達を探しつつも部員の豊さんと一緒に滑っていました。しばらくして私が転倒、そこにボウダーの男が突っ込んできました。幸い何事も無かったのですが、豊さんは消えていました。本当にいない。そして二度目の転倒、相当気に入られたのか、またもボウダーに突っ込まれましたが、今回は女性「カワイイ

♡。しかし、女性の方は早く立ち去りたそうな顔をしていました。「大丈夫ですか?」と聞くうと思つた矢先、豊さんが女性の体を引き起こそうとしていました。「あなた、いったいどこから来たんだ。」叫びたい気持ちでした。

休憩所まで滑り降りロッジに入ると青年部OBがカレーライスのライスをつまみに日本酒を飲んでいました。去年と同じ光景です。時間は刻々と流れ集合

時間が迫り、ツアー参加者はおみやげを買うのに夢中になっていきます。何か買わなくちゃいけないという衝動に駆られてしまふ不思議な所です。もちろん私も買つてしまいました。

バスの中では、皆、疲れ切つた様子でグッタリしていました。中には、酒でぐつたりしている人もいましたけど。

今年も、事故や怪我もなく無事に帰つてくれた事を本当に感謝します。

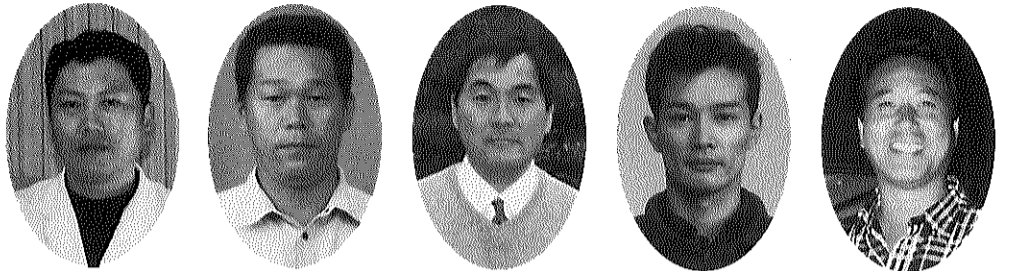
平成十二年度青年部事業一覧

4/25	平成十二年度通常総会	銚田町商工会館
5/10	鹿行地区商工会青年部総会	波崎町ウエディングステーション雅
5/26	鹿行地区青年部連合会通常総会	つくば市
6/12	鹿行青年部ゴルフ大会	北浦町(NSカントリークラブ)
7/5	鹿行商工会青年部野球大会	鹿嶋市下伝の郷運動公園
7/12	鹿行青年部の主張発表会	県民文化センター
7/13	鹿行地域商工会の集い「橋本県知事を囲む会」	ホテル さわや
7/15	講演会「安全で安心できる地域社会の実現を目指して」	銚田町商工会館
7/15・16	二十四時間耐久事業	銚田町商工会館
9/5	五市町村ソフトバレー大会	北浦町民体育館
10/7	青年部屋台村「わくわく夕市」	銚田町商工会無料駐車場
10/24	商工会施行四十周年記念大会	水戸県民文化センター
11/3	銚田ふるさと祭り	ほっとパーク銚田
11/16	商工会全国大会	東京都「NHKホール」
11/19・20	青年部親睦旅行	静岡県三津ホテル
11/29・3	三町村特別講演会「ビジネスに活かすIT」	海野 智孝氏
12/8	青年部忘年会	歌えもん
1/18	通商産業大臣表彰報告・祝賀会	ホテル さわや
1/30	鹿行地区親睦ボウリング大会	ヤングボウル
2/8・9	商工会青年部全国大会	千葉県「東京ベイNKホール」
2/19	講演会「税務講習会」	坂場税理士事務所 所長 坂場信夫氏 銚田町商工会館
2/22	町長との懇談会	銚田町商工会館
2/25	スキーバスツアー	福島県猫魔スキー場
3/23	講演会「お客様がお客様を呼ぶ商売の仕方」	佐野 常夫氏 銚田町商工会館

卒業おめでとうございます

(平成12年度卒業生)

卒業される皆さん本当にお世話になりました。
益々の御活躍をねがっています。



小川 一彦
当 間
(有)小川建設

中根 一樹
仲 須
中根鮮魚店

渡辺 彩希
本 町
セブンイレブン
銚田本町店

田崎 重司
大和田
田崎建設

中根 康雄
当 間
なかね製菓

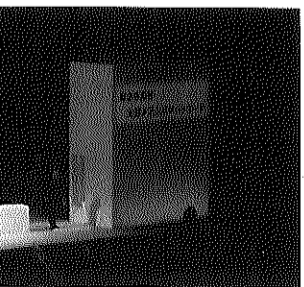
第三回商工会青年部全国大会が 千葉にて開催(関東ブロック主催)

平成十三年二月八・九日東京ベイエリアに於いて商工会青年部全国大会が関東ブロック主催のもと開催されました。

大会行事としては、二月八日第一ホテルにて全国ビジネス交流会が、二月九日東京ベイNKホールで全国大会が全国の青年部員を迎え、行われました。

我が青年部は、部長が実行委員長・倉本氏(茨城県青年部連合会会長)と友人でもあり、我が部が茨城町青年部と永年にわたりスポーツ交流などもあったため初めて全国大会に部長をはじめ八名で参加してきました。

ビジネス交流会については、インドネシア大使館館長を迎え三名の講師の先生による「経営革新」・「情報IT・小売



東京ベイNKホールにて全国大会開催

来客があり、入社して間もない私は、どう対応したらよいかかわからず、パニックをおこしていました。

そこで、商工会の仕事は事務的な仕事だけではないと改めて感じました。商工会には多くの事業があり、指導し、支えていくという重要な仕事があるということも教えていただきました。

が、何より、色々な人とのコミュニケーションが一番大切なことだと教えていただきました。

入社して二ヶ月が過ぎましたが、徐々に職場にも慣れてきました。徐々に職場にも慣れてきました。徐々に出会いが続き、学ぶことも多いので一日がとて短く、充実した日々を過ごしています。

一日も早く仕事を覚え、会員の皆さんの役にたてるように頑張っていきたいと考えています。

至らぬ点が多いとは思いますが、宜しくお願い致します。

青年部の皆さんへ

小川 一彦

私が商工会青年部に入学して十四年が過ぎ、もう卒業の年を迎えました。長かった様な短かった様な、この十四年間に振り返り、色々な事が思い出されます。まず入部の動機は、ゴルフ・野球・麻雀が出来ると言う単純な事で、先輩の鬼沢慶次さんに勧められ、入ってしまいました。

入部当初は、鬼沢部長で、ほととフェスティバルを行ないたいへんだと思いました。

最初と話が違うと思いつつも楽しかったです。その後、風揚が回る程の忙しさで仕事もこうだったらいののと思いましたが、ただその忙しさを今になって思えば、当時の執行部の皆さんは、大変だったろうと思っただけで、私が副部長になった時でした。入部当時の三分の一の事業くらいで、大変だと思いつた。

当時、先輩がよく、「継続は力

なり」と口々にしていた事を思い出し、やっとその答が見つかりました。私流の解釈ですけれど新しく商売を始めるには、勇気がいる事だと思っています。

まず最初に利益を出すことを前提に考えなければなりません。ただ失敗を恐れては何も出来ません。私は、住宅産業の中に生きていく一人です。過去二十年を振り返って、今が一番大変な時期ではないかと、思っています。そんな中私は三年程前からリフォームに目を向け行動しました。本来なら売上げ目標が有り、そこから経費、利益が数字として、出てくるのが当たり前ですが、まったく想像がつか

コミュニケーションを大切に

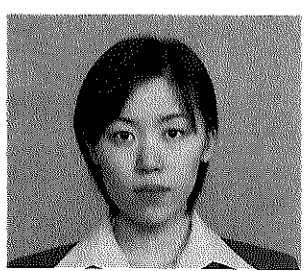
小田 多恵

私は、平成十三年一月一日付で経営指導員補助員として、銚田町商工会に採用されました。

私の商工会での初めての仕事は職員として正式採用される前、歳末売出し抽選会のアルバイトをした時です。

商工会での最初の仕事ということもあり、緊張と不安で抽選所にみえた方に対してただ黙々と仕事をこなしていくだけになってしまいました。そのとき、一緒に仕事をした方は色々な話をされて、とても場が和んでいるように見えました。

実際に商工会で働くことになって、私が想像していた以上の



商工会に採用された小田多恵です。

編集後記

今回、記事に載せた通商産業大臣表彰は、とても名誉あるものです。青年部が発足してから三十五年間の活動を振り返る機会を得ました。あらためて先輩たちの行動力のすごさを感じました。そして、この「微明」の発行の大切さも。

柏崎